■扇風機

大正時代末期につくられた扇風機。この時代から本格的に国産扇風機が量産され始めた。後に上下高さが変えられるものや、首が左右に動くものが開発された。

■台はかり

明治～昭和中期まで使われていた、重さをはかる道具。物を皿にのせ、おもりを左右に動かしてつりあわせる。おもりがある場所の目盛りで重量が具体的にわかる。大きくて重量のある物をはかる時は、人がのれるような大きさの台はかりを使用する。

■蓄音機

木製の蓄音機。円盤レコードの溝に針を接触させ、録音した音を再生する装置。

■レコード盤入れ

銅製で持ち運びができ開閉式である。
コンパクトでありながら 30 枚以上収納できる。

■ラジオ　戦前は、大きなスピーカーがついた「ラッパ付きエリミネーターラジオ」が一般的であり、ラジオが普及した時期であった。戦後はカーラジオも増え、それに使用できるよう電圧が上げられた高機能なラジオが登場した。